

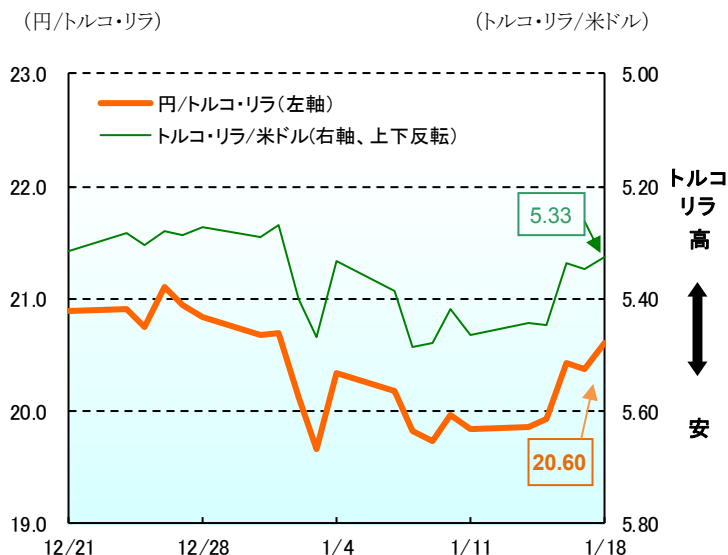
【2019年1月12日～2019年1月18日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

14日（現地、以下同様）に行われたエルドアン大統領とトランプ米大統領との電話会談を受けて、米国との関係悪化懸念が後退したことから、トルコ・リラは、対米ドル・対円ともに上昇しました。16日の金融政策決定会合で、トルコ中央銀行は市場の大方の予想通りに政策金利の据え置きを決定しました。声明文には、経常収支の一段の改善が期待されることを強調した一文が追加されました。国債金利は低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年12月21日～2019年1月18日)

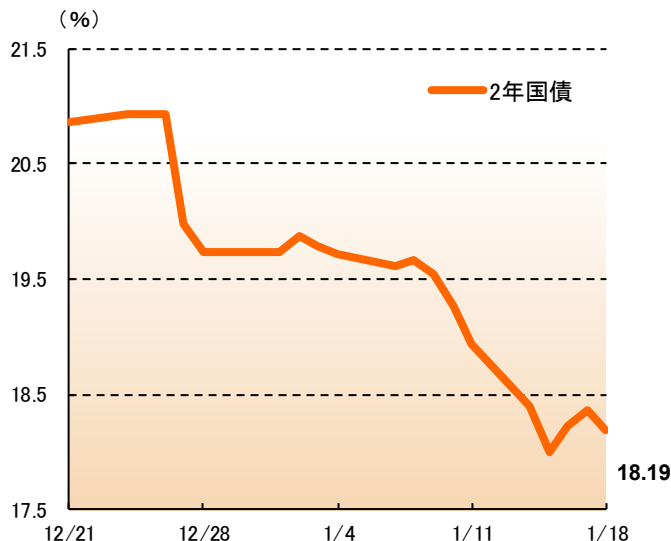


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週はトルコ国内で注目される経済指標はありません。経済ファンダメンタルズでは、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続きそうです。トルコは3月に統一地方選挙を控えており、支持率向上のためのエルドアン大統領の言動には注意が必要と考えております。また、対米関係および市場のリスクセンチメントにも引き続き留意する必要がありますと考えています。

【トルコ 金利推移】 (2018年12月21日～2019年1月18日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>